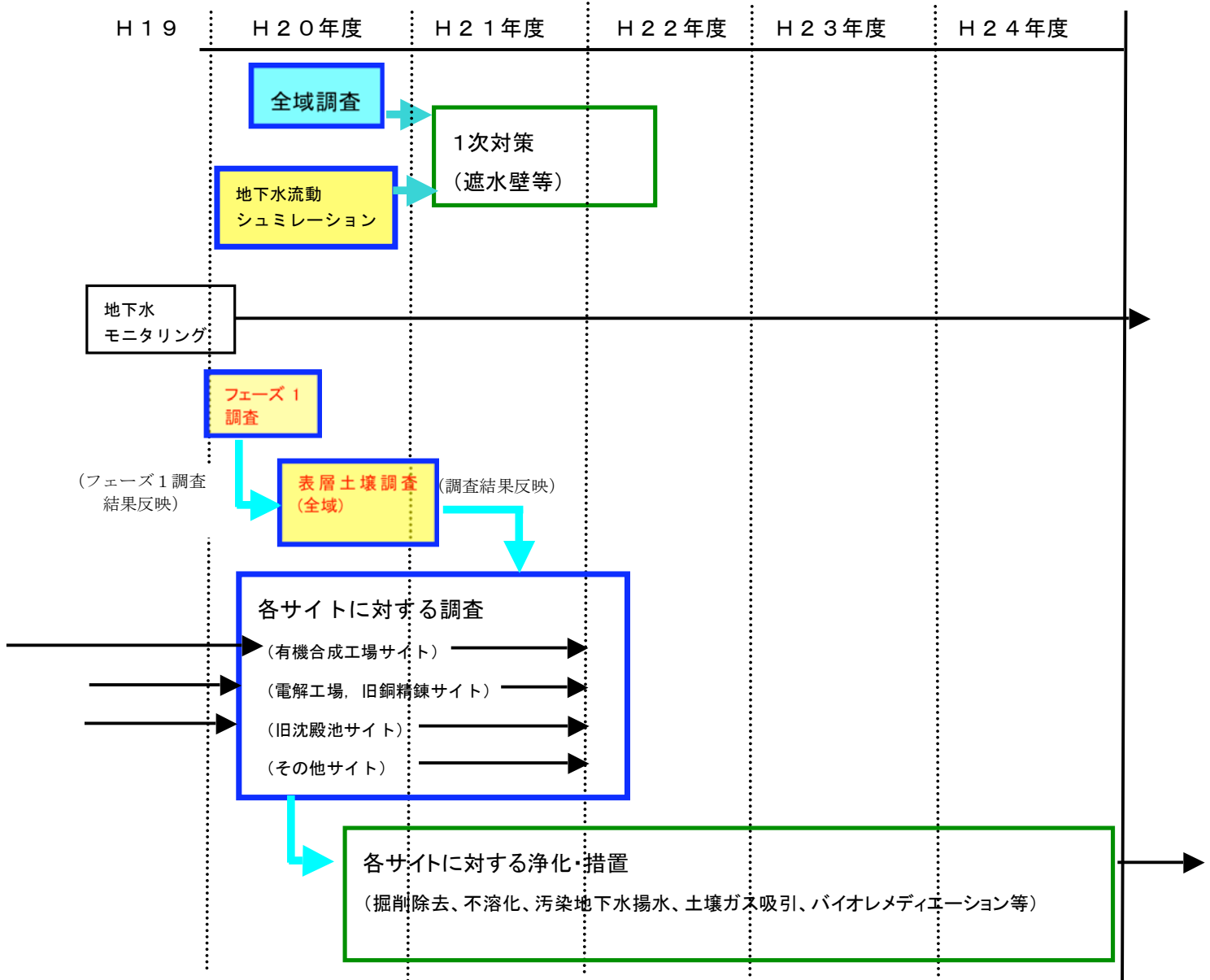


調査ならびに浄化措置 年次計画



調査の流れ

1. フェーズ1調査

2. 地質ボーリング調査

ボーリング地点数： 43 地点

掘削深度：18mおよび30m（仮）

3. 観測井の設置

宙水層対象（設置深度5m）：21 地点（仮）

第1帯水層対象（設置深度15m）：43 地点

第2帯水層対象（設置深度30m）：5 地点

4. 観測井の水位測定

5. 土壌・地下水分析

土壌分析

①第1種特定有害物質

②第2種特定有害物質

・溶出量分析

・含有量分析

蛍光X線分析の実施（≒全含有量値の測定）

ふっ素、ほう素については底質調査法による全含有量の分析を実施

③第3種特定有害物質

地下水分析

分析項目：地下水環境基準全項目

pH, EC, Cl, 水温, 地下水主要項目 (Na, Ca, K, Mg, Cl, HCO₃, SO₄, NO₃) Fe

ヘキサダイアグラムの作成

6. 透水試験・土質試験

第2難透水層に対する透水試験の実施。

試験方法：現場透水試験、および室内透水試験

第1帯水層、第2帯水層に相当する砂層、礫層の透水係数を推定するために粒度試験を実施する。

試験地点数：10 地点

7. 自記水位計の設置

19 地点に設置を計画（第2帯水層にも設置）

8. 地下水シミュレーションの実施

9. 総合解析